

伊東英朗監督にご支援を！

「この映画が日本の未来を考える上でひとつの気づきになることを、そしてアメリカの人たちが事実を知るきっかけになることを願っています」



★ 映画「サイレントフォールアウト」監督 伊東英朗

私は「ビキニ事件＝第五福竜丸事件」と、そう信じていた。高知県の元高校教師に出会うまでは。

山下さんたち教師と高校生「第五福竜丸のことは教科書などで語り継がれています。ただ被曝したのは福竜丸だけではない。ほかの船も海も魚も。そして人間も放射能で汚染されている」・・・取材中、時間の経過を幾度も恨めしく思った。「聞きたかったら土の下へ行ってこいや」「50年前にこい」。2010年9月19日「朝日新聞」（西部版）一面を飾ったスクープ記事「ビキニ死の灰、太平洋横断 水爆実験翌年の米公文書日本本土でも観測」米国が1954年ビキニ環礁で実施した一連の水爆実験で、放射性降下物「死の灰」が太平洋を越えて広がり、日本や米国などにも降下していたことが日本の研究者が入手した米公文書で裏付けられた。

・・・世界で起こっている全ての被曝問題は、未解決のまま、次の被害者を生み出し続けることになってしまう。その負の連鎖、この日本で我われが目当たりにしつつある。やがては「フクシマ」の原発事故が、いつの間にか福島だけが汚染された事故として記憶されることになるだろう。私たちは「事件」の全容をこれからも見続けなければならない・・・（伊東英朗著「放射線を浴びたX年後」より抜粋・転載）HPアドレス：<https://fallout22.com/>

★ Sep 8, 2021 ジョセフ・マンガノ Joseph Mangano

1950年代後半、米ソ冷戦の緊張が高まる中で最も憂慮すべきことは、可能な限り多くの原子爆弾の実験と製造を競う熾烈な競争であった。・・・自然界には存在しなかった100種類以上の発がん性同位元素を含む放射性降下物を発生させた。広島原爆の1,000倍以上の威力を持つ爆弾もあった。多くの人が懸念したのは、放射性降下物が実際に人々の間に蓄積されていくこと、特に毒性の影響を最も受けやすい子どもたちに蓄積されていくことであった。・・・政府関係者は、亡くなったアメリカ人の骨や組織を密かに採取し、核実験の時期に対応してSr-90が大幅に増加していることを発見した。この調査結果は公表されず、実験は続けられた。・・・

（研究教育団体「放射線と公衆衛生プロジェクト (Radiation and Public Health Project: RPHP)」より抜粋・転載）

アメリカ大陸の放射能汚染の実態に迫る渾身のドキュメンタリー

伊東英朗監督はいまなお潜む、“サイレント・フォールアウト、見えない放射性降下物”の実態をあぶりだし、汚染を追った。

本作は、子どもを被曝から守るために女性たちが始めた「乳歯検査」を中心に取材。4000ページを超える文書と、2022年夏に米国内の被曝者、研究者30人に行ったインタビューをもとに、今も続く放射能汚染の現実を伝える。

「原爆で戦争が終わった」と考える人が多いアメリカ。そのアメリカで上映会を開き、事実を知らせ、ともに考える。伊東監督の願いは私たちの願い。

私たちに出来ることを始めよう。小さな支援が大きな輪となるように。

皆様のご支援を
どうぞよろしく
お願いいたします

伊東英朗（いとう・ひであき）

1960年愛媛県生まれ。16年間公立幼稚園で先生を経験後、テレビの世界に入る。東京で番組制作を経験した後、2002年から地元ローカルテレビで情報番組などの制作の傍ら、地域に根ざしたテーマでドキュメント制作を始める。2004年ビキニ事件に出会い、以来、19年に渡り取材を続け、2012年映画『放射線を浴びたX年後』、2015年に『放射線を浴びたX年後Ⅱ』を完成。「地方の時代映像祭グランプリ」「早稲田ジャーナリズム大賞」「日本民間放送連盟賞最優秀賞」「日本記者クラブ賞」「芸術選奨」など多数受賞。同名書籍も刊行した。



12月3日(日)岐阜 CINEX 映画「サイレント・フォールアウト」を観る会